新学期におすすめ！

カードゲーム特集

４月といえば新学期、新学期といえば新しい人との出会い。交友関係が広がりそうで嬉しい反面、うまく仲良くなれるか不安な人も多いのではないでしょうか。そこで今回は、初対面の人とであっても盛り上がれるようなカードゲームを紹介します！仲良くなるきっかけを作るためにカードゲームという選択肢はいかがですか？　（stat）

コヨーテ

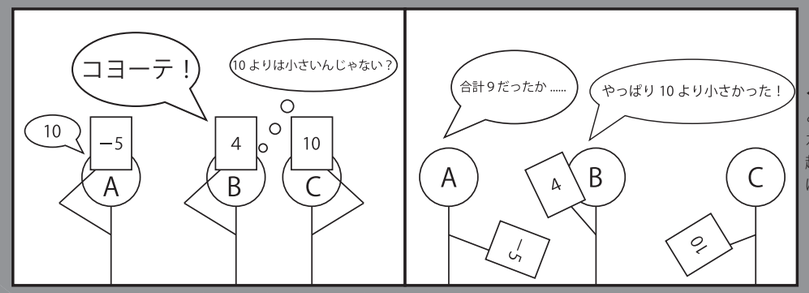


簡単なルール

一人一枚カードを持ち、自分のカードだけ見ることができない状態で全員のカードに書かれた数の合計を予想します。一人ずつ順番が回ってきて、順番が回ってきた人は
①前の人が言った数より大きく、かつ全員のカードの合計を超えないだろうと思う数を言う
②前の人が言った数が既に合計を超えていると思ったら、「コヨーテ！」と叫ぶ
のどちらかをおこないます。誰かが②をおこなった時点で全員のカードをオープンし、そこでその数が実際に合計を超えているかどうかで勝敗が決まります。

ここが面白い！

多くのカードには０～５の数字が書かれているのですが、まれに20などのとても大きい数やマイナス、さらには「他の全てのカードの合計を２倍にする」といった一枚で合計を大きく変えてしまうカードが存在します。もし自分のカードがそれらのカードだった場合、大きく計算が狂って……？



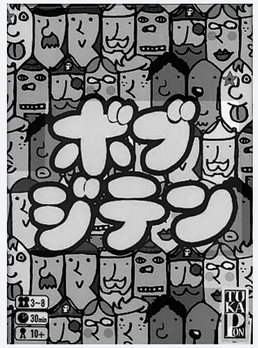
◀この場合、B が「コヨーテ！」と叫んだのでその時点で全員のカードをオープンし、A が合計を超えた数を言っていたのでＡが負けになります。

はみだしすてーじ

最近布団に入ってからの記憶がありません。たぶん20秒ぐらいで眠りに入っています。
⇒布団に入っても30分は寝られない私からしたら羨ましい限りです

（農・２　jurinko）
（悩み事が頭の中を駆け巡る……；編）

ボブジテン



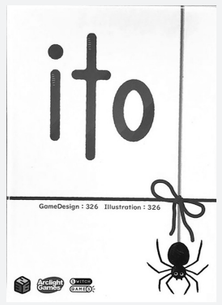
簡単なルール

一人があるカタカナの言葉を「カタカナを使わずに」他の人に説明し、うっかりカタカナを使ってしまう前に誰かがその言葉を当てることができたら、説明した人と当てた人に得点が入ります。基本的なルールはこれだけで非常にシンプルですが、慣れてきたらあるカードが出てきたときには縛りを追加する（助詞が使えない、一文で説明しなければいけないなど）といったルールを設けることもできます。

ここが面白い！

「カタカナを使わないのってそんなに難しいことかな？」と思ったそこのあなた、油断大敵ですよ。私たちは思っている以上に日常でカタカナを使っており、少し油断するとポロッとカタカナが出てしまうことも。ただ逆にカタカナを使わないことを意識しすぎると難しい日本語や変な表現を連発してしまうこともあるため、かなり盛り上がります。

ito



簡単なルール

１～100の数字が書かれたカードが一人一枚ずつ配られます。与えられたお題に対し、自分の数字が大きいほどお題に沿ったことを、小さいほどお題から離れたことを言います（例えばお題が「鞄の中にあったら嬉しいもの」で、100なら金塊、１なら使い終わったティッシュなど）。そしてそれぞれの数字の大小を予想して話し合い、全員の数字を順番通りに並べることができたらクリアです。ちなみにこの他に「自分と合わせて合計が100に近くなりそうな人を探し、その人とペアを組んでその数字で勝負する」というルールもあります。

ここが面白い！

かなり個人の価値観が表れるゲームです。10や90など極端な数字についてはほぼ価値観が一致するのですが、真ん中あたりだとかなりずれがあり、「自分はこれは40ぐらいだと思ってたけど他の人たちは70ぐらいだと思ってた」ということが往々にして起こります。そのずれを共有しあうことでゲーム後も話のネタにできます。

はみだしすてーじ

京都って雪積もりますか？
⇒２月の初めぐらいにめっちゃ積もりましたね

（エ・１　よしこ）
（その１週間後には春の暖かさだった気がするけどどういうこと？；編）